

会 議 録

1 会議名

令和3年度 第1回津有区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

- ① 令和3年度地域活動支援事業について
- ② 自主的審議について
- ③ 年間スケジュールについて

3 開催日時

令和3年4月26日（月）午後6時30分から午後7時30分まで

4 開催場所

津有地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

3人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：猪俣敦子、大滝英夫、千代金治、相馬祐一、田中博三（副会長）、中島 功、
藤本孝昭（会長）、古川勝夫、古川 仁（欠席3名）
- ・事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【山崎主事】

会議に入る前に、4月より事務局に人事異動があったため紹介する。

【小林センター長】

- ・挨拶

【山崎主事】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【藤本会長】

- ・会議録の確認者：猪俣委員

次第 2 議題「(1) 協議事項」の「① 令和 3 年度地域活動支援事業について」に入る。事務局より説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料 1、参考資料 1・2 に基づき説明

【藤本会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

参考資料 1・2 については、すでに決定・確認している事項である。では資料 1 の審査スケジュールについて協議していく。先ほどの事務局の説明にあったように、5 月 7 日頃に各委員宛に提案書の郵送を予定している。その後、提案内容を確認の上、昨年と同様に疑問点や質問内容を各自で検討することになる。そして、現時点では暫定的に 5 月 24 日を予定しているのだが、第 2 回地域協議会では各提案者より出席いただきヒアリングを実施する。昨年度は新型コロナウイルスの影響によりヒアリングを実施しなかったのだが、今年度については、昨年度の反省も踏まえて、ヒアリングを実施したいと思っている。1 事業当たり 10 分程度を予定しており、9 事業の提案であるため、トータルで 90 分の時間をかけてヒアリングを進めることになると思う。その後、委員各自が採点を行い、約 10 日間後の 6 月 3 日までに事務局に採点票を提出することになる。その後、採点結果をとりまとめた一覧表が自分たちの手元に届き、6 月 14 日の第 3 回地域協議会にて採択事業の決定を行うスケジュールで進めることを予定している。この日程について、意見等あるか。

(発言なし)

特に自分たちが関わってくる工程としては、5 月 24 日の第 2 回地域協議会と 6 月 14 日の第 3 回地域協議会である。

資料記載のスケジュールで進めてよいか。

【千代委員】

5 月 24 日のヒアリングについてである。

現在、上越市では新型コロナウイルスの感染状況が少し落ち着いているように思うが、万が一、市内で新型コロナウイルスの感染が拡大した場合はどうなるのか。

【藤本会長】

新型コロナウイルスの感染状況が、現在の状況で推移していれば問題ないと考えている。だが、上越市が東京都のように緊急事態宣言がなされてしまった場合にどうするのか、という質問でよいか。

事務局より説明を求める。

【小林センター長】

新型コロナウイルス対策については万全を期して、協議会を開催している。

今の時点で明言はできないのだが、ヒアリング前の状況を見て、開催方法、また開催するか否か等、状況に応じて判断していきたいと思っている。

あくまでも、資料記載のスケジュールは現時点での一応の予定と考えほしい。

【藤本会長】

一堂に会して会議を開催することが厳しい状況が出てきた際には、当然、対応を考えなければならない。だが現時点では、「万全の対策をして開催する」ということが事務局の説明である。

他に意見等あるか。

【相馬委員】

昨年度はヒアリングを実施しなかったため、事前に文書にて提案団体に質疑を出したと思う。

今年度についてはヒアリングの実施を予定しているため、事前に文書にて質疑を出すことはしないということか。

【藤本会長】

昨年度については、ヒアリングを実施しないために、文書で質問をするかたちをとった。逆に言うと、ヒアリングを実施するのであれば、文書による質疑の提出は必要がないということである。

ヒアリング当日、委員各自がその場で各提案団体に対して、事前に精査した内容について質疑等を行うことになる。

事務局、このような解釈でよいか。

【山崎主事】

そのとおりである。

【藤本会長】

昨年度のヒアリングについては、あくまでも新型コロナウイルスの影響による特別な例であった。質問を事前に文章にて提出することは、新型コロナウイルスに関連したものであるということを理解してほしい。

【中島委員】

協議会の開始時間については、6時30分でよいか。

「津-1」と「津-9」では、約1時間30分ほどの差がある。呼び込み時間等は決まっているのか。

【藤本会長】

提案団体が9団体であるため、単純にヒアリングが90分かかる。例えば、6時半から始めると8時までかかることになる。1番目の提案団体は6時30分からの開始となるが、最後の9番目の提案団体は8時近くということになる。例えば、提案団体ごとに「何時ごろより開始する」と示し、若干の時間変動がある可能性もある旨を説明の上で時間調整をしていくことになると思う。

ヒアリングのアナウンスの仕方について、他区の協議会の状況等、事務局より補足を求める。

【山崎主事】

他区やこれまでの津有区での状況は、特別な事情がない限りは事業番号順に、各団体約10分間でスケジュールを組んでいる。各団体は予定時間に間に合うよう、例えば「開始時間の5分前までにお越しくください」といったかたちで案内するよう進めている。

【藤本会長】

3月の事前説明会の際には、「10分程度のヒアリング時間では少ない」「たくさん話したいことがある」との意見も出ていた。だが、9事業の提案が出てきているため、全団体を例えば「30分」としては大変な時間となってしまう。また日を改めて設定することも難しいと思うため、各団体のヒアリング時間については「10分」としたいと思う。また時間までは別室にて待機してもらおう。そのようなかたちでヒアリングを実施することでよいか。

(よしの声)

他に意見等あるか。

(発言なし)

第2回協議会（ヒアリング）、第3回協議会（採択事業の決定）の日程については、資料記載のとおりとしてよいか。

(よしの声)

その他、審査の進め方やスケジュール等について意見を求める。

(発言なし)

意見等なければ、資料記載のスケジュールで進めていきたいと思う。

昨年度も協議会の中で「地域協議会として提案の現場に出向いてはどうか」との意見もあった。地域協議会委員には委員証が配布されているため、現場を見ておく必要があると思う事業については、各自で確認することとしてはどうか。すべての事業を見て回ることはできないかもしれないが、可能な限りで把握してほしいと思う。

以上で次第2議題「(1) 協議事項」の「① 令和3年度地域活動支援事業について」を終了する。

次に次第2議題「(1) 協議事項」の「② 自主的審議について」に入る。事務局より説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料2に基づき説明

【藤本会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

これまでの協議経過や方向性、今後どのように進めていくのかについて、さらに過去の協議会での類似した事例について説明があった。また自主的審議のゴールについても方法を示された。地域の団体等に働きかけながら推進する方法、地域活動支援事業を活用する方法、あるいは市と地域が一緒に行う事業についてバックアップしていくような方法、さらに市へ意見書を提出する方法、といった4つの方向性が示された。いずれにしても、地域協議会は方向性について議論することはできるのだが、活動主体として直接活動するということではないことの確認もなされたかと思う。

本日は今後の審議の進め方について検討していく。

資料の「2. 協議経過」にまとめてあるとおり、前回の協議会にて、今後は「前島密

翁の顕彰」を含めた、地域のよさを伸ばす取り組みについて、自主的審議していくことと決定した。これまでの協議経過より、「1. 自主的審議テーマ名（案）」を、「津有区の特徴を活かした地域活性化策について」としているが、このテーマを津有区の自主的審議テーマとしてよいか。

（よしの声）

自主的審議のテーマとすることが決定したため、「1. 自主的審議テーマ名（案）」の「(案)」を削除願う。

ではテーマが決定したため、前期の協議会で自主的審議テーマとしてきた「少子高齢化対策について」は、審議を引き継がないこととしてよいか。

（よしの声）

では、前期のテーマを引き継がないこととする。

次に「3. 審議の進め方」を協議していく。

最初に「① 審議の方向性」である。これまでの協議会では、津有区出身の偉人である前島密翁に関して、地域での認知度や機運を高める、外へPRする等、意見があったが、今後の審議においての方向性を確認しておきたいと思う。

これについて意見を求める。

【千代委員】

資料2を見ると「前島密翁を顕彰する会」が平成27年度に地域活動支援事業を活用して事業を行っているようである。

自分はこの地の生まれではないため、前島密翁をこの地に来て初めて知った。地域住民や地域協議会委員がどの程度、前島密翁を知っているのか、後から来た自分は分からない。そのため、もしよければ、活動している団体に話を聞いてみたい、との気持ちがある。可能であれば、地域協議会に出向いてもらえればと思う。

また、郵便局等も「前島密翁を顕彰する会」に携わっているのか。歴史や前島密翁に関して等、何かあるのか知りたい。

【藤本会長】

今ほどの千代委員の意見については、資料2の「3. 審議の進め方」の「②深掘りの方法」の中身に限りなく近いように思う。「方向性」と「具体的に何をしていくのか」との絡みだと思う。

今ほどの千代委員の発言は、基本的に「方向性」について異議はないのだが、具体

的に今後どのように行っていくのか、との意見だと思う。

この件について、意見等あるか。

【千代委員】

地域協議会は主導権を持っているわけではなく、あくまでもバックアップするかたちである。

自分はよく知らないため、可能であれば「前島密翁を顕彰する会」のような団体から「どのような活動をしている」「このようにしていきたい」といった話を聞きたい。

また献碑祭を今年度行うようであるが、そういったことに対して、何かPRのようなことをしてもらいたいと思う。

【藤本会長】

先ほどより説明しているように千代委員の発言は、方向性についてはよいのだが、協議会委員が具体的にどのようなかたちで進めていくのか、ということについての意見だと思う。

では、資料2の「3. 審議の進め方」の「② 深掘りの方法」を確認してほしい。

資料には例として、「関係団体の活動状況の把握、前島密翁の生い立ちや活躍についての勉強会等」と記載されている。これは委員の勉強会のことである。そのような取組が具体的な方法として1つあると思う。千代委員の発言は、多分、そういうことなのだとは自分は理解している。「① 審議の方向性」をある程度は認める前提で、「② 深掘りの方法」の話をしているのだと感じている。

他に意見等あるか。

(発言なし)

大きな方向性としては、「前島密翁の顕彰」として地域の機運を高める、あるいは地域外へPRをして観光産業へとつなげる、ということはある程度理解いただけだと思う。次のステップとして、関係団体の活動状況の把握、あるいは前島密翁の生い立ちや活躍についての勉強会を行い、自分たち地域協議会委員がまずはしっかりと理解するというところから行いたいと思っているのだが、他に意見等あるか。

【中島委員】

地域活動支援事業の今年度の提案の中に「前島密翁献碑実行委員会」からの事業提案があるのだが、その団体の中に地域協議会委員が入って手伝いをする、または一緒に勉強会をさせてもらうことも考えられると思う。そのため、提案事業の具体的な内

容を見て地域協議会が積極的に関わられるものについては関わっていくとしてはどうか。

具体的に「何月何日に何をやる」と決めてしまうことは、現時点では少し待ったほうがよいかと思っている。

【藤本会長】

今年度の提案の中に「津-2 前島密翁関連・献碑式典開催及び100周年に向けノボリ&チラシ事業」があった。もう1つ関連した事業では「津-6 ヨモギ文庫プロジェクトおやこでよみたい郷土絵本～前島密ものがたり～事業」がある。採択されるか否かは別の問題として、自分たちが考えていたことと通じ合ったように、事業提案がされている。

先ほどの中島委員の意見としては、このような団体がどのような提案をしてきているのかをある程度受けとめ、そこから勉強していく切り口があるのではないかと、この提案だと思う。今すぐに勉強会をするということではなく、具体的なことについては提案書を見てからということではどうかと思う。

千代委員、このような方法でどうか。

【千代委員】

献碑祭は今年の何月にあるのか。その辺のスケジュールが分かればありがたい。

それによって、話し合いが6月まで待てるのか、話を聞くことができるのか、ということもあると思う。例えば献碑祭が秋であれば、十分に余裕があるためこれら2つの事業を確認した中で話し合い、バックアップできるのか、関わっていけるのか検討できると思う。しかし献碑祭が6月か7月なのであれば、検討している時間はない。

事務局でスケジュールを把握していれば教えてほしい。

【藤本会長】

事務局より補足願う。

【山崎主事】

献碑祭は、毎年7月1日に行っていると聞いている。今年度が99回目であり、100周年である来年度に向けて、地域住民が地域を盛り上げていくべく、頑張っているとのことである。

【千代委員】

今年だけなのか。

【藤本会長】

献碑祭は毎年行っており、今年度が 99 回目の開催、来年の 7 月 1 日が 100 年目となる。そのため、今年度の事業提案で「機運を盛り上げよう」との内容になっているのだと思う。

【千代委員】

理解した。

【藤本会長】

前島記念館の脇に大きな碑があり、その碑を顕彰する祭りなのだと思う。

例えば、今年の 7 月 1 日に献碑祭があるとすれば、少なくともそこに可能な委員が臨席することはできると思う。そのあとで具体的な話を聞くことも可能だと思う。

では、先ほどの中島委員の発言にもあったように、今後はもう少しこれら団体等の動きを基にしつつ、その他にも頑張っている人や団体はいると思うため、そのあたりを事務局も含めてリサーチをして可能な範囲で資料を集め、委員自身が勉強していくという、深掘りの方法でよいか。

(よしの声)

では、そのようなかたちで進めていきたいと思う。

その他、整理しておかなければならない点等あれば、発言願う。

【大滝委員】

自分自身も「前島密」との名前は知っており、「郵便の父」といわれていることも知っている。だが、実際の本当の姿は頭に入っていない。自分も今後、どういう人物だったのかについて勉強していかなければならないと思う。本当はどのような人物であったのかについては分からない。興味を持って勉強していきたいと思う。

【古川 仁 委員】

自分が分かっていることは、1 円切手に前島密が描かれているということである。あとは、小・中学生の頃に現在の記念館の場所を見学した記憶がある。また勉強したいと思っている。

【田中副会長】

下池部町内の人がどの程度、盛り上げて顕彰したいと思っているのかが分からない。

明治に入り、著名人というか、国のために貢献した人、自分が知っている自由民権運動で当時活躍した、頸城地区でも相当有名な人がいるのだが、その人たちの大きな石碑も立っている。土地の事情もあると思うのだが、石碑が建っているだけのところ

もあれば、毎年小規模ながら献碑祭的なことを行っているところ、大々的に記念式典等を行っているところもあるようである。

自分は判断に迷っているのだが、下池部の人たちがどの程度行いたいのか、自分は地元出身の人間ではないため、意欲というか、考え方が分からない。

【藤本会長】

もう少し話を聞きながら、どういう考えでいるのかを確認することも必要なのではないか、との意見もあったか。今はまだ、どんなことを考えているのかについて、なかなか分からないところがある。1つのきっかけとしては、ヒアリングの限られた時間の中で、的を射た質問をしてみることも1つの手法かと思う。

では、一通り意見を聞いたため、本日いただいた意見を基に、実施時期や詳細等、正副会長と事務局で調整していきたいと思うがよいか。

(よしの声)

以上で次第2 議題「(1) 協議事項」の「② 自主的審議について」を終了する。

次に次第2 議題「(1) 協議事項」の「③ 年間スケジュールについて」に入る。事務局より説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料3に基づき説明

【藤本会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

年間スケジュールについて、今ほどの説明のとおりとしてよいか。

(よしの声)

資料記載のスケジュールで進めることとする。

以上で次第2 議題「(1) 協議事項」の「③ 年間スケジュールについて」を終了する。

次に次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。

- ・次回の協議会：5月24日（月） 午後6時30分から 高士地区公民館 大会議室
- ・内容：地域活動支援事業について（ヒアリング）

その他、事務局より補足等あるか。

【山崎主事】

- ・ヒアリングの進め方、流れについて説明

【藤本会長】

ヒアリング当日の流れについては、事前に資料等にて補足することとしてよいか。

時間やスケジュールもそうだが、どのようにして進めていくのか、今回は初めてであるため、イメージができていないと思う。過去のことも含めて整理し、何らかのかたちで示してもらうことは可能か。

【山崎主事】

承知した。

【藤本会長】

その他、委員や事務局より何かあるか。

(発言なし)

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690 (直通)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。